

第3章 市域全体のまちづくり計画と地域まちづくり計画の視点

新総合計画において、「私たちの政府」が創る藤沢づくりは、基本構想の理念を受け、「ふじさわ未来課題」の実現をテーマとして計画策定を進めます。この計画が具体的に進んでいるかを点検するための目標や指標値などによる基本的な方向性を示したものが、市域全体のまちづくり計画と地域まちづくり計画です。

基本構想で示された地域分権の視点に基づき、基本計画では、地域経営会議と市民センター・公民館が連携して地域まちづくりの方向性を明らかにした「地域まちづくり計画」によって、自助、共助、公助によって、地域づくりを進めていくことが位置づけられています。

また、市域全体では、将来予測等を踏まえ、藤沢づくりの具体の方向性を示した、自助、共助、公助によって、進めていく「市域全体のまちづくり計画」が位置づけられています。

この市域全体の藤沢づくりの具体の方向性を示した、「市域全体のまちづくり計画（マスタープラン）」と地区の特性を活かした地区別の「地域まちづくり計画（ローカルプラン）」は、両輪となって、メッシュ構造の仕組みによって、藤沢づくりを進めていきます。

メッシュ構造の仕組みによる藤沢づくりの基本となるのは「ふじさわ未来課題」です。「ふじさわ未来課題」は、将来像を実現するための9つの「藤沢づくりのめざす方向性」と3つの活動領域を具体化したものであり、これを市域全体と地区別に「ふじさわ未来課題」を深掘りし、重み付けを行い、「重点・ふじさわ未来課題」として抽出しました。

今後、市域全体と地区ごとに「重点・ふじさわ未来課題」の実現のための活動を進めていきますが、計画策定、活動、評価・見直しを行う上で、市域全体と地区は常に「ふじさわ未来課題」を共有し、連携を進めるための前提とします。

そのため、「重点・ふじさわ未来課題」は、別紙表に示すように、全市域と地域が連携して取り組む課題、地域の個性や特長をふまえ、地区ごとに単独で取り組む課題、市域全体を対象に取り組む課題、地区と地区が連携して取り組む課題等に整理し、目標や政策、まちづくり活動が位置づけられ、メッシュ構造の仕組みによって藤沢づくりの整理がされています。

このような、メッシュ構造の仕組みによるまちづくり計画を支える基本となる考えは「新しい公共」と「地域分権」です。

したがって、基本計画では、市民、地域と行政が連携し、協働して藤沢づくりを進めていくための「役割の担い手」を示しています。

都市ビジョン1. 市民の力が育てる生活充実都市	全市	片瀬	鶴沼	辻堂	村岡	藤沢	明治	善行	湘南 大庭	大会	湘南台	遠藤	長後	御所見
(1) 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち														
1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること								○				○		○
2 市民が自働できるまちであること														
3 市民自らが藤沢を良くする活動に積極的であること														
4 藤沢市で活用できる様々な資源を有効活用していること														
5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること	○					○					○			
6 誰でも気軽に市内の情報を発信したり、得ることができること												○		
7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境														
8 市民自ら、人にやさしい手をさしのべること	○													
9 子どもを安心して育てられる環境があること						○				○	○	○		
10 子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていること							○							○
11 地域の歴史文化を教育活動に活用すること														
12 地域協働で、教育や人材育成に熱心であること														
13 地域が子どもを見守り育てる環境であること							○				○	○		
14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること	○	○	○	○	○									○
15 子どもたちが積極的に交流できる場が整備されていること														
16 子どもたちが身近な生活の中で自然を感じていられること														○
(3) 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち														
17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと			○	○				○				○		
18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること	○	○	○	○	○	○						○		
19 治安の良い環境であること		○	○			○						○	○	
20 安全・安心を高める活動が盛んであり、ボランティアの精神が高いこと														
21 市民が協力しあい、安心して住みやすいまちであること														
22 様々な世代が、快適に住みよいまちであること														
23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること	○	○	○	○	○	○					○	○		○

表 17 市域全体と地域の課題状況(都市ビジョン1)

都市ビジョン2. 地域から地球に広がる環境行動都市	全市	片瀬	磯沼	辻堂	村岡	藤沢	明治	善行	湘南大庭	六会	湘南台	遠藤	長後	御所見
(4) 共に生き、共に創る地域社会の創出														
24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること	○							○				○		
25 生活環境を守るために地域でまとまりがあること				○	○		○						○	
26 子育て世代を支える環境が充実していること														
27 お互いの個性が尊重されていること														
28 地域のため一人ひとりの活動が大切にされていること														
29 いろいろな世代、いろいろな国の人たちと交流できること											○			
30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること							○				○			
31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること			○						○					
32 人々が交流して、平和でぬくもりのある社会であること	○													
33 地域の中で学びあう雰囲気があること														
34 地域で支え合い暮らせる環境であること	○	○							○	○			○	○
(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展														
35 まちと自然環境の調和がとれていること				○					○					
36 誰もが快適に暮らせ、居心地のいいまちであること						○								
37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること	○									○				○
38 イベントや物産品などの地域ブランドが定着していること														
39 身近にある緑が適切に保全されていること								○						
40 地域にある様々な地域資源が活かされていること								○						
41 調和のとれた景観づくりが進められていること														
42 市民同士が協力し合いながら暮らしていること														
43 子供が大人になっても愛着の持てるまちであること												○	○	
44 河川や海岸が市民に開かれていること														
45 地域の未来の担い手が育成されていること	○				○	○						○	○	○
(6) 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資														
46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること									○					○
47 みんなが協力して、いつでもまちがきれいであること												○		
48 豊かな緑に囲まれた生活が出来ること														
49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	○	○												○
50 市民の環境美化への意識を高める工夫がされていること														
51 先進的な環境対策がなされていること														
52 周辺自治体や他地域と共に環境対策を進めていること														
53 市民・地域が協力して持続可能な環境ができていること														
54 地球環境に優しい手段で移動できること														
55 環境美化活動を支える仕組みがあること														

表 18 市域全体と地域の課題状況(都市ビジョン2)

都市ビジョン3.さらなる可能性を追求する創造発信都市	全市	片瀬	鶴沼	辻堂	村岡	藤沢	明治	善行	湘南 大庭	六会	湘南台	遠藤	長後	御所見
(7) 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生														
56 身近に親しみや愛着をもてる景観があること														
57 すべての世代がのびのびいきと活躍していること		○			○			○	○					○
58 地域の特徴が活かされたまちであること														
59 安全で安心な食べ物が身近で得られること			○											
60 まちに若者が多く、活気があること														
61 観光により地域が元気になること	○													
62 産業の活力を高め、地域が元気になること	○					○		○			○		○	○
63 地域の人材が働ける機会を創造すること	○							○			○		○	○
64 商店街と大型店舗が共存共栄し、活気あるまちになること				○									○	
65 市内の交通・物流がスムーズに行われること							○			○			○	○
(8) 公共資産の維持管理と有効活用														
66 市民の財産である自然を守り、育てられていること													○	○
67 移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること	○	○	○	○										
68 日常生活に安らぎや豊かさを与えてくれる場所があること								○						
69 市民が利用する身近な施設が大切にされていること	○													○
70 様々な主体によって、身近な公共の場が維持管理されていること														
71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72 いろいろな市民の学びの場が充実していること														
(9) 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出														
73 活気があり、開放的で温かいまちであること		○	○					○					○	
74 いつも自然の豊かさを感じられていること										○				
75 豊かな地域資源を室に、楽しい体験ができるまちであること														
76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること	○					○	○	○	○		○		○	○
77 藤沢の魅力がメディアで発信されていること														
78 常により良い地域にしようとする住民が活躍していること														
79 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること				○						○				
80 市民と来訪者が交流できる機会や場があること														
81 地域の記憶や文化が継承され、発展すること	○													○
82 藤沢ならではの取り組みが実践されていること														
83 子どもから大人まで、文化に触れる環境が整っていること														

表 19 市域全体と地域の課題状況(都市ビジョン3)